

令和5年(2023年)度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：長野県小県郡長和町

協定締結日：平成20年(2008年)3月14日

活動状況：継続中

連携先窓口：長和町役場産業振興課 農政係長 三浦傑様

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：菅沼圭輔(食料環境経済学科)

活動体制(単位)：学科

関連教員(所属)：「食料環境経済学科山村再生プロジェクト検討委員会」

吉野馨子(食料環境経済学科)、大浦裕二(食料環境経済学科)、

金田憲和(食料環境経済学科)、堀田和彦(食料環境経済学科)、

寺内光宏(食料環境経済学科)、中窪啓介(食料環境経済学科)、

長尾真弓(食料環境経済学科)

活動目的：

プロジェクトの名称は「山村再生プロジェクト」。2008年に文部科学省の教育GPの補助事業に採択され、長野県長和町と東京農業大学の連携協定の下で、長和町をフィールドとして地域振興に関わる実学教育を行うことを目的としているプロジェクトである。

2023年度は2023年5月から2024年2月までの7回の現地実習を中心にのべ150名の活動を行うことを計画した。

2023年度の主な活動計画は以下のとおりである。

1. 特産品開発

「長和のトマト」事業化計画(22, 23年度2か年計画の二年目)「長和のトマト」のビジネスとしての可能性について実践と調査を行い、町に報告書を提出する。

2. 観光宣伝素材作成

ペンションパンフレット作成(22, 23年度2か年計画の二年目)長和町のペンション取材を行い、実務家のアドバイスを受けながら、宣伝素材の選択(パンフレットやSNS等)も含めて検討し、公表する。

3. 次期プロジェクトの準備

次期計画作成のために、地域貢献につながる事業策定のための準備的な調査や体験を行っていく。今期の計画の継続・発展も含む。

- (1)長和町マルシェ（町の物産の販売活動）長和町の商品を東京で売ることによる長和町の知名度向上と、新たな魅力の発見
- (2)SNS を活用した長和町やプロジェクト活動の情報発信
- (3)長和町の地域文化の理解の深化を図る

活動内容・成果：

2023 年度は下記の 2023 年 5 月から 2024 年 2 月までの 7 回の現地実習を中心にのべ 174 名の活動を行った。

活動計画の主な実施状況は以下のとおりである。

1. 特産品開発：「長和のトマト」事業化計画

「長和のトマト」作り（トマトソース加工）を 8 月 18 日(金)～20 日(日)及び 9 月 1 日(金)～4 日(月)の 2 回の実習において実施した。実習では町内加工用トマト生産農家の圃場での収穫、選別及び町施設でのトマトソース加工を行った。加工実習は長野県立丸子修学館高校食品科の教員・生徒と共同で行った。収穫祭では「コト消費」という観点を重視し、パンフレットを作成して販売を行った。

収穫祭後の 11 月 14 日情報番組「ヒルナンデス」（日本テレビ系列）に出演し、学生活動を紹介した。

2. 観光宣伝素材作成：ペンションパンフレット作成

2022 年度に取材を行った長和町内の 10 軒を題材としたパンフレットを完成させた。パンフレットにはペンションを中心とした長和町観光ツアーの提案のページを設けた。長和町観光協会の専門家の監修を受け、2000 部を印刷し、都内で配布活動を開始した。

3. 次期プロジェクト計画準備：

(1)長和町マルシェ（町の物産の販売活動）

長和町の農業の 6 次産業化を担う鷹山ファミリー牧場、緑の花そば館、栗島晋作氏等の製造した加工食品と「長和のトマト」を 5 月、7 月、3 月に中野マルイのイベントで、また 11 月の収穫祭で販売活動を行った。また、世田谷税務署でインボイス制度について学習した。

(2) SNS を活用した長和町やプロジェクト活動の情報発信

農大 HP でのブログでの学生活動の紹介、2022 年度に引き続き Instagram、Twitter、Facebook を活用した情報発信を展開した。今年度は新たに長和町を紹介する 15 秒 CM 動画を作成し「ふるさと CM 大賞 NAGANO」に参加した。

(3) 長和町の地域文化の理解の深化を図る

9 月の松尾神社例大祭（長久保地区）、1 月のおたや祭（古町地区）の見学や 1 月のどんと焼き参加（長久保地区）等の活動を行うほか、長和町の地域振興に携わる地域おこし協力隊スタッフや和田地区の「和田のあしたを考える会」の代表者へのインタビュー活動を行った。また 7 月実習では長和町町民 10 名と学生 20 名でワークショップを開催し、「魅力のある町とは」、「長和町のいいところ」、「学生の活動にどう生かせるか」について意見交換を行い、今後の地域活動の基礎を作った。

課題・改善点：

12 月 8 日に学生による活動報告会（リモート開催）を行い、長和町の役場関係者、企業家さらに中野マルイが参加した。

(1) 「長和のトマト」の販売において「コト」消費を重視したことが評価された。

また、学生の活動に完結せず、長和町町内に生産活動を拡大することについて要望が示された。

(2) SNS を利用した発信について高い評価を得られた。また、CM 大賞への参加継続の期待が示された。

(3) 多くの活動を行っていることに高い評価を得たが、山村再生プロジェクト全体としては何を目標しているのか明確にしてほしいとの意見が複数あった。その他、2023 年度には地域住民との交流を開始したことが評価されたが、次年度もこれを発展させることが求められている。

以上



和田宿での地域活性化活動に関する学習（5月実習）



長和町の皆さんとのワークショップ（7月実習）



松尾神社例大祭・大山獅子の皆さんと（9月実習）